

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI / 12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 ※実施機関名、及び連携機関名（ある場合のみ）を記載してください。 茨城大学教職大学院、鹿嶋市校長会
コラボ研修プログラム	事業名： 地域スクールリーダー育成セミナー ～市町村校長会との連携による次期管理職候補者育成研修～
支援事業報告書	研修等名：【NITS・茨城大学教職大学院コラボ研修】 地域スクールリーダー育成セミナー ～市町村校長会との連携による次期管理職候補者育成研修～
	開催日時：令和4年8月5日 9時～12時 開催場所：鹿嶋市まちづくり市民センター（茨城県鹿嶋市大字宮中4631-1） 参加人数（総数）と参加者の属性：（48人）鹿嶋市内公立小中学校教諭20人、教頭15人、校長13人

内容： ※全体発表の内容をテープ起こしするなど、具体的に記載してください。研修等の様子は、写真を右に貼り付けてください。

本コラボ研修は、市の校長会との連携のもと、要望に合わせたテーマで講義を行い、その対象を教頭および学校のミドルリーダーとすることで、各地域における次期管理職候補者に学校マネジメントに関する知識・技能を習得してもらうことを目的とした。具体的には、鹿嶋市校長会と連携し、鹿嶋市内小中学校の主に教頭ならびにミドル層の教諭を対象としたセミナーを行った。また、市校長会の幹部委員をはじめ、鹿嶋市内の小中学校校長も参加してもらった。市校長会を通じて、各校へ募集をかけ、校長には、次期管理職候補の教職員が本研修へ積極的に参加するよう促すことを依頼したことで、定員を満了する参加者の希望があった。参加者の内訳は、教諭20名、教頭15名、校長13名の計48名であった。

鹿嶋市校長会の要望を受け、当日は①「人材育成と学校マネジメント」、②「働き方改革の現状と学校における課題」という2つの講義を各80分を行った。講義①「人材育成と学校マネジメント」は、鈴木稔教授、高野貴大助教（いずれも茨城大学教職大学院）が担当し、昨今の「新たな教師の学びの姿」をめぐる政策動向を踏まえた上で、人材育成という観点から学校マネジメントに求められる考え方と実践の在り方を、理論とともに具体例を含めて紹介した。講義②「働き方改革の現状と学校における課題」は加藤崇英教授（茨城大学教職大学院）が担当し、昨今の「働き方改革」をめぐる政策動向を踏まえ、学校マネジメントとして取り組むべき視点や方法について解説した。

なお、本事業の予算で「写真1」に示す通り、講義資料を掲載したテキストブックを作成し、参加者全員に配布し好評を得た。また、「写真2」に示す通り、大きな会場で参加者が密集しないよう配慮して実施し、手指消毒剤の設置等の感染対策も十分に行った。さらに、昨年度、コロナ感染拡大により、本事業の研修を一部中止せざるを得なかった反省を踏まえ、万が一のオンライン開催のための会議システムも準備していた。

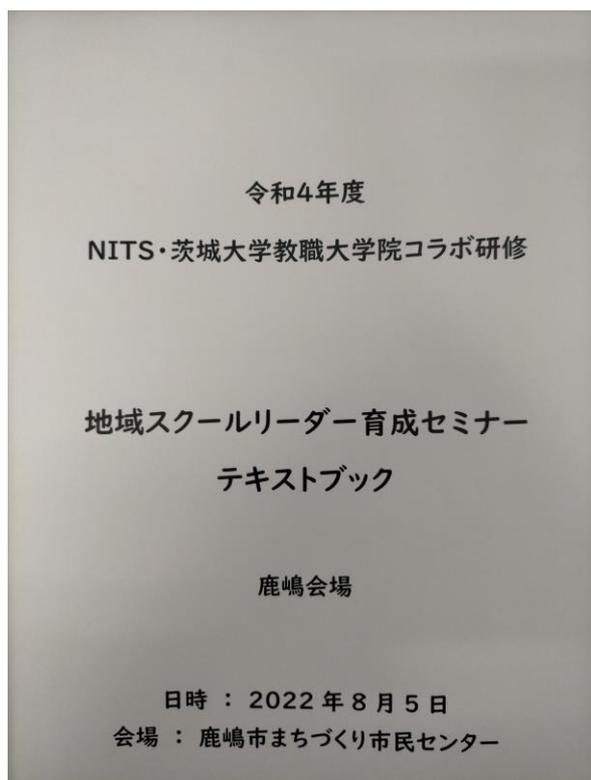
成果： ※参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

研修終了後、受講アンケートを実施し、教諭19名、教頭12名、計31名から回答を得た。その結果、講義①、②ともに、全体の満足度（「満足している」、「まあ満足している」の回答合計）が100%であった。また、「あなたにとって本講義は実践に活かすことのできる内容だと思いますか。」という質問に対し、講義①、②ともに肯定的評価を得た（講義①「思う」22名(71.0%)、「どちらかと言えば思う」9名(29.0%)、講義②「思う」21名(67.7%)、「どちらかと言えば思う」9名(29.0%)）。自由記述として、「普段聞くことができない大学の先生からのお話がとても勉強になりました。現場には積極的にできない通知や法令などとても参考になりました。」といった回答があり、理論を体系的に学ぶ貴重な機会となったことがうかがえる記述が散見された。さらに、「勤務校の近くでこのようなセミナーが開催されることについてどのように思いますか。」という質問には、27名(87.1%)が「良いと思う」、4名(12.9%)が「まあ良いと思う」と回答し、「今後もこのようなセミナーに参加してみたいと思いますか」という質問には、「そう思う」25名(80.6%)、「どちらかといえばそう思う」6名(19.4%)と回答した。このことから本事業を有益に捉えていた参加者が多いことがわかる。

アイデアや工夫したこと： ※3～5つ程度の箇条書きしてください。

- ・市の校長会の意向を勘案して、講義テーマを設定し、地域における喫緊の課題に応えたこと
- ・校長会を通じて、募集をかけたことで、各校のミドル層の教員と教頭に参加してもらったこと
- ・対面中止代替措置を想定し、オンライン開催のための会議システムを準備していたこと

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。



← 写真1 テキストブック
表紙・目次



↑ 写真2 研修の様子
↓

